認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信

E・N・S通信

No.39

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
Saitama Center for Climate Change Actions

Index

表紙寄稿　山下 伸雄氏
令和７年度通常総会＆記念講演会
家庭の省エネ対策
中小企業向け脱炭素支援
埼玉県地球温暖化防止活動推進員について
事務局からのお知らせ

持続可能な未来を創る― 西武台高校 STEAM コースの挑戦 ―

学校法人武陽学園 西武台高等学校　副校長　山下 伸雄

武陽学園　西武台高等学校では、2023年度より「STEAM コース」を設置し、「15年後の君のために」をテーマに生徒の主体的な学びを推進しています。STEAM とは科学・技術・工学・芸術・数学を融合した教育であり、社会課題を自分ごととして捉え、解決に挑戦できる人材の育成を目指しています。

探究活動では、3D プリンターや CAD、レーザーカッター、Python を用いたプログラミングなどのスキルを実践的に学びます。さらに Arduino を活用したロボットカーやアーム制御の開発など、工学的な学びへと発展させています。

こうした学びを基盤に、地域創生と観光を組み合わせたプロジェクトや、身体にハンデのある方に配慮した歯ブラシの開発など、社会課題解決につながる実践を展開しています。また、企業と連携し古い制服を回収してポリエステルを再利用する「re-ring」に協力し、資源循環や地球温暖化防止に貢献しています。

さらに2023年には「SDGs エコフォーラム in 埼玉」(於:十文字学園女子大学) にて、高校生の部で「発電する靴」や「災害に備える備品管理システム」といったプロジェクトを発表し、評価をいただきました。2024年も、学生が同フォーラム (於：獨協大学) 若者分科会に参加し、脱炭素への取組に関するアイデア提案を行いました。

これからも西武台高校 STEAM コースは、地域・大学・企業等との協働を大切にしながら、生徒が未来を切り拓く学びを育んでまいります。

令和七年度通常総会が終了しました

６月14日（土）、大宮ソニックシティの会議室において令和７年度通常総会を開催しました。当団体は埼玉県や会員等による多大なご支援やご協力のもと運営することができており、今年度で21年目を迎えられたことを感謝申し上げます。

当日の議題は、令和６年度の事業報告案と活動計算書案、令和７年度の事業計画書案と活動予算案でしたが、すべて承認可決され、いよいよ令和７年度の活動が本格的にスタートしました。年々夏の気温上昇による熱中症やゲリラ豪雨等、埼玉県でも気候変動による災害が激甚化しています。私たちの生活が安全で安心に過ごせるよう、地球温暖化対策は喫緊の課題です。私たちにできる行動は地域における身近な取組となりますが、脱炭素を目指し県民と力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

記念講演会を開催しました

総会時に記念講演会を開催しました。今回は、埼玉県環境科学国際センターの濱元 栄起様にご登壇いただき、『脱炭素の切り札！再生可能エネルギー熱』―地中熱や太陽熱の研究の取組―というテーマで、地中熱や太陽熱の有効活用を目指した最新の研究についてお話をいただきました。

家庭において給湯や調理等で熱の需要は大きく、用途別消費エネルギーにおいても全体の70％が熱利用となっています。現在、熱供給は化石燃料を利用しているため、CO_2排出量の割合は大きくなっています。脱炭素を目指すうえで、熱においても再生可能エネルギーの利活用が望まれる中で、安定的に効率よく供給ができる地中熱について詳しくご紹介いただきました。埼玉県の再生可能エネルギーのうち、特に地中熱エネルギーや太陽熱エネルギーは賦存量が大きく、今後の普及が期待されています。しかし現状では、地中熱利用システム（ヒートポンプ式）の導入数は、国内では約3,200件、うち埼玉県は約120件にとどまっており、欧米や中国などと比べて普及が大変遅れています。その原因として、認知度の低さや導入コストの高さが挙げられます。また、埼玉県は日射量が大きいため、太陽熱の利用も効果的であるとのことです。濱元氏は最後に、埼玉県において地中熱や太陽熱の導入を促進するためには、本研究の成果を積極的に発信し再生可能エネルギーの利活用を促していきたいとまとめられていました。私たちも熱エネルギー利用について理解促進のため、県民へさらなる情報提供を行っていくことが必要だと再認識しました。

●賛助会員・寄付募集　認定 NPO 法人である当団体へのご寄付及び賛助会費は、**税制優遇措置の対象**となっています。所得税、法人税、相続税、一部の自治体の住民税において、それぞれ定められた条件を満たすことで優遇対象となります。詳しくは、ホームページをご覧ください。引き続き、皆様のご支援ご協力をお待ちしています。

埼玉県「家庭の省エネ相談会＆省エネ実践講座」を開催中

今年度も県内８カ所で「埼玉県家庭省エネ相談会」、県内７か所で「省エネ実践講座」の開催を予定しています。省エネ相談会では、家庭の省エネアンケートにご協力いただいた方に、省エネ相談員が家庭の省エネ対策についてアドバイスを行っています。今年度は身近な対策だけではなく、家電の買替、太陽光発電の導入や窓の断熱改修等、ハード対策にも力を入れてアドバイスを行っています。太陽光発電設備等のハード対策は費用が掛かりますが、省エネ効果による光熱費削減効果も大きいので導入をお勧めしています。「省エネ実践講座」では、開催が年度後半の予定となっていますが、実際に窓の断熱改修等の体験をしていただくことで、具体的な導入を促したいと思っています。省エネ相談会等は県内のイベント会場に出展していますので、お近くの方はぜひお立ち寄りください。
今後の予定…決まり次第、当団体 HP にてお知らせします。

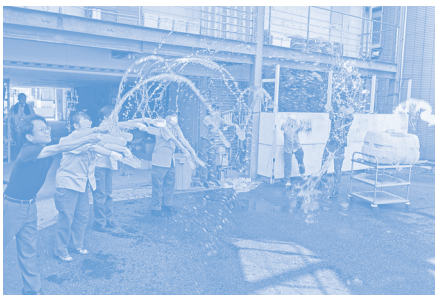
省エネ相談会	10月４日、５日	エコウイーク（イオンレイクタウン）
〃	10月25日、26日	所沢市民フェスティバル（所沢航空記念公園）
〃	11月14日	県庁オープンデー
省エネ実践講座	9月21日	SAITAMA 環境フェアステージ（イオンモール上尾）
〃	10月５日	エコウイークステージ（イオンレイクタウン）

“埼玉打ち水の環2025”を実施しました

今年の夏も異常な暑さとなり、各地で40℃を超える酷暑日が続出しました。そこで、今年も県内各所で「埼玉打ち水の環2025」を実施しました。多くの団体や個人から報告が寄せられ、夏の暑い中での打ち水が盛り上がりました。各打ち水の様子は当団体 HP 上でご覧ください。

また、6月７日（土）に、さいたま市や埼玉県等が主催する「さいたま打ち水大作戦2025」に参加しました。今年度は真夏の暑さを回避するため６月初旬の開催となりましたが、当日はかなり暑い日となり打ち水日よりとなりました。さいたま新都心のコクーン広場で開催され、多くの参加者を得て盛大に打ち水を行うことができました。当団体は省エネ相談会も兼ねて出展し、再生可能エネルギーの中でも特に太陽光発電について情報提供を行いました。立ち寄られた方は太陽光で動く玩具や太陽光パネルの発電を体感し、再エネへの理解が深まったと感想を述べておられました。

打ち水は、夏の暑い朝や夕方、残り水や雨水を撒くことで涼を呼び込むという昔ながらの手法ですが、現代のエコライフにもつながる暮らし方だと思います。涼を呼び込む打ち水は夏のエアコンの使用を控えていただくことにもつながりますので、暑い夏の日は二次水を利用しぜひ打ち水にトライしてみてください。



中小企業向け脱炭素への取組支援

当団体は、今年度も中小企業の脱炭素への取組支援に関しいくつか事業を行います。以下、ご紹介します。

◎中小企業への省エネ支援

今年度も埼玉県が実施する中小企業向けの省エネ診断「省エネナビゲーター事業」の事務局を担います。企業が脱炭素を目指す中で、まず自社のエネルギー効率を高めること、つまり省エネへの取組が求められています。そこで埼玉県では中小企業向けの省エネ診断を実施しています。専門的な知見を有し技術的なサポートが可能な省エネナビゲーターが事業所を訪問し、ウォークスルー診断を実施し、後日省エネ対策を提案するものです。今年度から一部有料となりましたが、光熱費の削減による費用対効果は大きなものになります。他にも事例発表会（セミナー）や相談会も開催していますので、お気軽にご利用下さい。

同様に、国の中小企業向けの省エネ診断及び支援の事務局も担っています。「省エネお助け隊」という名称で、専門家による中小企業向けの省エネ診断及び伴走支援のサポートを行っています。こちらも同様に一部有料となりますが、今年度は今まで以上に申し込みが多くなっており、省エネや脱炭素への関心の高まりが伺えます。

中小企業にとっても光熱費の高騰対策や CO_2 削減への取組が課題として挙げられる中で、まずは省エネ診断を受診されることをお勧めします。

◎埼玉県カーボンニュートラル推進分科会について

埼玉県では SDGs 官民連携プラットフォームの分科会として、昨年度「カーボンニュートラル推進分科会」を設置し、中小企業の脱炭素への取組について情報提供を行っています。当団体は昨年度に引き続き、セミナーや会議の事務局支援を行っています。今年度は、セミナーを３回開催しますが、８月25日（月）に第１回目を開催し約80名の方に参加いただきました。セミナー第１回目は「熱利用における CO_2 削減の取組」をテーマに、主に製造業における熱対策について情報提供を行いました。特に、食品製造業の取組を２事例発表していただき、大変参考となったと好評でした。

今後、第２回目は10月14日（火）、第３回目は１月21日（水）と続きます。参加対象者は中小企業関係者となりますが、会場では企業による展示交流や専門家による相談会も開催していますので、ぜひ会場へ足を運んで頂きたいと思っています。詳細は随時当団体の HP にアップしますのでご覧ください。

埼玉県動画コンテストのお知らせ

埼玉県では､初の試みである｢広げよう！温暖化対策の環｣ショートムービーコンテストを募集しています。このコンテストは、温暖化対策の啓発が目的となっており、入賞すると県知事賞や優秀賞が授与され､豪華な副賞もついてきます｡気軽に奮ってご応募ください。

表彰式は12月14日の｢SDGs エコフォーラム in 埼玉｣の開催会場で行われます。詳細は、下記 Web サイトをご覧ください。
https://comp-saitama-ondankaboushi.pref.saitama.lg.jp/

埼玉県地球温暖化防止活動推進員の募集制度が変わりました

今年度から、埼玉県地球温暖化防止活動推進員 (以下、推進員) の募集制度が変更となりました。推進員とは、県知事から委嘱され、地域における地球温暖化対策活動を無償で行っている個人の方です。現在154名の推進員が県内で活躍されています。

これまでは2年に1回の募集でしたが、今年度からは研修等を受講することが条件とはなりますが、任期途中でも推進員になれるようになりました。募集は今まで通り、2年に1回10月ごろから始まりますが、エントリーを忘れてしまったというような方にも常時推進員になれるようになりました。ぜひこの機会を利用し、推進員として温暖化防止活動に参加してはいかがでしょうか。詳しくは Web サイトをご覧ください。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/suishinin.html

埼玉県地球温暖化防止活動推進員の紹介

今回は狭山市で活動されている玉川 雅仁さんをご紹介します。玉川さんの今夏の温暖化対策活動は、**“もう限界です。この暑さ！”**のキャッチコピーで始まりました。玉川さんは、2016年より“NPO 法人 さやま環境市民ネットワーク”の温暖化対策分科会に在籍し、地元の諸先輩や仲間たちと共に、温暖化防止活動や断熱対策新技術などの交流を図っています。

7月には最近立ち上がった｢埼玉脱炭素市民チーム みらたま｣が主催する｢集まれ！埼玉県民　タウンミーティング｣に参加したところ、Zoom 研修や連絡網はフェイスブックのメッセンジャー利用、ワークショップのまとめは“LiveQ”アプリでリアルタイム公開等、新しい体験ができ今後の推進員活動に大いに参考になったとのことです。

8月は自治会の夏祭りで、環境ネットワーク埼玉主催の“埼玉打ち水の環2025”に子供たちと参加しました。また子供たち対象に、温暖化対策にちなんだ問題や景品を用意し､｢環境クイズ YES/NO｣を行いました。この活動は、子供たちが盛り上げてくれる楽しく学べる温暖化対策で毎年開催しています。子供たちが環境クイズを家庭に持ち帰り、家族で温暖化対策について話し合ってくれたらさらに嬉しく思いますとのことです。

11月、12月は、地元公民館や団体、児童館のプラネタリウムのボランティアと共催で行う｢むだな電気を消して、夜空の星を眺めよう“Light Down in SAYAMA”｣という夜間屋外イベントを予定しています。これからも皆と一緒に活動を続け温暖化対策に取り組んでいきたいとのことです。玉川さん、頑張ってください！

事務局からのお知らせ

予告「第７回SDGsエコフォーラム in 埼玉 つながろう 広がろう 世代を超えて　エコの環」を開催します

県内の団体、企業、行政、教育機関、地球温暖化防止活動推進員が一堂に会し、１日を通して情報交換、交流、情報発信等を行います。

日　時　令和７年12月14日（日）　10時～16時30分
会　場　大宮ソニックシティ会議室・集会室　一部オンライン併用
主　催　第７回 SDGs エコフォーラム in 埼玉実行委員会
共　催　埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、埼玉グリーン購入ネットワーク、他
後　援　埼玉県
参加費　無料
プログラム　午前　基調講演、埼玉県動画コンテスト表彰式、他
　　午後　５つの分科会に分かれて情報交換や意見交換を行います
※詳細は、https://kannet-sai.org/about/activities/2025/1214.html

令和７年度埼玉県家庭における省エネ・再エネ活用設備導入支援

埼玉県では、家庭部門の脱炭素化を促進するため、自らが居住する既存住宅に新たに省エネ・再エネ活用設備を導入する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付しています。蓄電池とエネファーム（家庭用燃料電池）は、当団体が申請窓口となっています。
詳しくは、https://kannet-sai.org/hojokin/ をご参照ください。

表紙の説明

大阪・関西万博2025のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。 持続可能な社会の実現を目指し、技術革新や国際的な連携を通じて、より良い未来を築くためのヒントを見つけることを目的としています。会場内では多くの最先端技術等を見ることができますが、個人的に見学した中で環境関係の取組を一部掲載しています。
・日本館は万博内で出たごみから作ったバイオガスエネルギーを利用
・西ゲートの屋根及びシャトルバス乗り場に設置されたペロブスカイト太陽電池
・会場内でリユース食器の取組

編集・発行

発行日　令和7年9月30日
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎３階
TEL：048-749-1217　FAX：048-749-1218
https://kannet-sai.org
閉館日　土・日・祝日、12/29～1/3　　開館時間　9:00～17:00

情報やお知らせ等、是非お寄せください